校武道

授業の充実に 台

複数種 目授業 実践報告と課題 5 • 合気道

徳島市入田中学校 教諭 \mathbb{H} Ŧ. 雅千

育てた三角州に発達した人口約26万人の県都である。 徳島市は、 徳島市の西部に位置し、 徳島県の東部に位置し、吉野川とその支流が作り

様々な学校行事をはじめ、 東西に鮎喰川が流れる自然豊かな学校である。 小規模校であるが、 本校は、 本校では、昨年度より剣道と合気道の複数武道に取り組んで それらの授業実践について紹介したい 地域の方々の協力を得ながら、生徒たちは、 部活動など意欲的に取り組んでいる。 緑の山野に囲まれた盆地と 全校生徒23名の

本校の実態

名、 進めている。 会などの行事も皆で協力しながら くしている。また、文化祭や運動 仲間であり、 は幼稚園から一緒に過ごしてきた 小規模校である。ほとんどの生徒 子4名)、第3学年7名(男子2 本校は、 女子7名)、第2学年4名(男 女子5名)、 第1学年12名 学年に関係なく仲良 部活動は、 全校生徒23名の (男子5

> トテニス部と剣道部がある。 小規模校の長所は一人一人に対 1年生2名、計3名である。 剣道

部は、伝統があり優秀な成績を残 名とT2としてもう1名、 ら活動している。保健体育教員1 能の差があるものの、協力しなが 団体競技では、成長過程による技 平成24年度に全校体育となった。 位で十分な活動ができないため、 ある。保健体育の時間は、学年単 する場面で人数不足になることで 応できる体制があることである。 してきたが、現在は2年生男子1 方、 短所としては、 団体で活動

で指導している

2

複数武道の考え方

施した。 いる。 ともまた、 時に複数の武道授業を経験するこ らの武道に特性がある。 相撲など複数の武道があり、それ れの特性を生かした授業が出来て ルなど複数の種目があり、それぞ やバレーボールそしてソフトボー うに考える。 複数武道の実施において次のよ 武道にも柔道や剣道それに 利点があると思い、 球技には、サッ 中学生の 力 実

年度は、 行うことができていなかった。た。そのため武道教育を効率的に しかないので、男女別に行ってき している。 だ。翌年からは、 として来ていただき、指導を仰い され退職された先生に外部指導員 平成23年度より実施してい 本校は、 中学校で剣道を長年指導 剣道を武道授業として しかし、 体育教員が指導 防具が16名分 る。 初

> その内の10時間を合気道に充てて 学習の時間」は、年間70時間あり、 重する態度の育成を合気道で実践 本人として日本の伝統と文化を尊 に国際理解の教育として、 している教員がいた。 た。 方で「総合的な学習の時間」 「総合的な まず日

道を保健体育の時間で実施した。 あると考え、 つの武道を学ぶことの方が有効で り、 合気道を別の時間に実施するよ しに行っていた。しかし、 間については、それぞれが連携な 年間は、体育と総合的な学習の時 本校には武道館がないので、 保健体育の時間に男女別で二 成23年度から25年度までの3 昨年度、剣道と合気 剣道と 体

わせて実施している。 は、体育のマット9枚をつなぎ合 具一式と竹刀を用意した。 剣道は、平成23年度に16名分の防 さである。武道の用具に関して、 スケットボール・コート程度の広 育館を使っている。広さは縦約28 ル、横約18メート ルで、 合気道

の教員は、 剣道を担当している保健体育科 徳島県や徳島市が開催

103

演武を披露していただいた。 敷島塾の工藤泰助会長より快諾を 化祭で演武を行っている。合気道 一般の人に馴染みが薄いので、を受けてきた。また、合気道は 者研修会」に参加し、 気会が主催する「全国合気道指導 日本武道館並びに公益財団法人合 当している教員は、 を積んでいる。一方、 安全で効果的な指導について研修 会を受講し、 する武道指導の研修会や実技講習 3名の会員方に迫力のある 武道の授業において また、 公益財団法人 合気道を担 合気道は、 実技と講義 文

授業実践

3

は痛い、 導する内容を精選すること。 たせる指導をすること。また、 の共通理解を図った。 ために、剣道と合気道でいくつか ージがあるので、興味や関心を持 し、達成感を得られるようにする 生徒の実態を把握、 危ないなどマイナスイメ まず、 目標を設定 武道

> 確認した。 さを引き出すことが大切であると るので「できる」「わかる」楽し は、初めて武道に触れる生徒もい ることを確認した。特に、1年生 と。男女や学年差に関して配慮す 以上の繰り返しを少なくするこ さを求めすぎないようにし、必要

▽剣道

心に展開している。 動作の習得、 礼の仕方、 簡単な試合などを中 防具のつけ方、

効果を示した。また、女子の場合 ことができた。 消え、スムーズに授業を実施する からは打ち込みに対する恐怖心が 合などを行った。 の竹刀で小手や胴打ちの練習、 は、ウレタン製の竹刀を作り、 き出すための動機付けを行い、 ど、生徒が剣道に対する興味を引 授業の導入では「新聞紙切り」な 徒が感じられるように工夫した。 ジがあったので、 剣道の授業は「足が冷たい、 痛い」などのマイナスイメー そのため、 「楽しい」と生

月刊「武道 | 2016. 3

2016. 3 月刊「武道|

102

表 1 授業の感想

自ら学ぶということは、自分なりの目標を持ち、それに向けての意欲や達成の喜びに支えられている。そのた めの自己評価カードを作り、ふり返ることができるようにした。

■剣道

事例1「剣道は、痛い怖いイメージから変わった生徒」

1回目	今日初めて剣道をしました。防具も初めて着けたので難しかったです。
2回目	今日、新聞を切る練習をしました。今回はきれいに切れたのでよかったです。
3回目	竹刀で試合をしました。はじめは怖かったので、不安だったけれどだんだんと楽しくなったので良かったです。
まとめ	はじめは、剣道をしたくないとおもっていたけれど楽しかったし、いい体験になりました。

■合気道

事例2「初めて合気道を体験した生徒」

1回目	合気道は初めてやって難しかったが、少しでも技が身に付けられたので良かった。
2回目	前より多くの技を身に付けられた。それと共に、だんだんとハードになってきたので、覚えるのに少し手こずった。
3回目	高度な技を初めてやって大変だったけれど、覚えると簡単だった。
まとめ	今まで合気道にふれることはなかったが、やってみて何かの役に立つといいなと思えた。

てしまうので相手 理に力を入れると相手をケガさせ とが理解できたと思う。 る」に関しては、 相手を尊重 スポー また、

どうすればうまくいくか話し合っ 与えて指導した。学習指導要領 よいか悩んでいるペアには助言を うにアドバイスをし、 はゆっくりと安全に技をかけるよ ていた。うまくいっているペアに た。また、 しさや喜びを感じ、それぞれの が積極的に技をか 授業では、 「武道の伝統的な考え方を理解 鍛練的な要素を持っているこ 上手にいかないペアは 生徒は技ができる楽 して稽古ができ どうすれば 合って ツと異な

育成に努めてい 友好関係を築いていける人だと考 や文化を知ると共に、 できることはやったと思う。真の あげたかどう 限られ 際感覚を持 そのような子どもの パつとは、 間で、 かは疑問であるが、 十分な効果を 他国の人と 国の伝統

よりも、 では、 にする方法であると思う。 を常に持つことが人間関係を円滑 単にはいかないがそのような考え 切であると生徒たちに伝えた。簡 解決方法はないか考えることが大 ことを学校生活の中でも生かして うにすることを何度も指導した。 と、折りたたむ足を間違えないよ 頭部を打たないようにすること 気道では、後ろ受け身のとき、後 者も絶えず声がけをして危険のな いってほしい。 「安全に気を配ることができる」 かない 最後の授業では、 ようにしなければならない。 生徒もそうであるが、 相手をよく見て何か別の 相手に対して、ぶつかる 人間関係でうまく 武道で学んだ 合

最後に



男子合気道授業・小手返し

成果と課題

導した。 ために正座・礼などを繰り返し指 れる伝統的な考え方」を達成する 目標の つである 「礼に代表さ

上がり、窮屈で背中が丸まってゝ指導以前は、正座の姿勢で肩が な生徒たちは、 生徒を散見した。そしてそのよう または前のめりになっている 3分間もすると決

る、

た、 評価カードの集計表である。 る。 以下は生徒の感想となって 参考になれば幸いである。



女子剣道授業・ウレタン竹刀による打ち込み

確保のため、

まずは単独動作を身

に付けさせた。対人動作では、

安

あること、

また、

決められた形を

る判断力と思いやりの心が必要で 全に稽古するために、力を加減す

ればならないことを注意点として 稽古するので、約束事を守らなけ

き、受け身、 ▽合気道 応用技などを実践した。 二人で技をかけ合う前に、 礼の仕方、 技、 足さばきと体さば 護身術としての 安全

いった と説明。 り返すうちに、 る生徒もいた。 ったりする。また、片足を立て ときにぴょんと両足で座ったり立 ぞれの武道に対する考え方による で、どちらを採用するかは、それ とを教えた。二つの流儀があるの 左起」または「左座右起」するこ その上に手を置き、 徐々にできるようになって 生徒は、 生徒たちも意識し しかし、指導を繰 座るときや立つ そして「右座 立ち上が

表1は授業後に行った自己評価 表2は学年男女別にした自己 ・ドによる生徒たちの感想であ ま

が見受けられた。 たるまで下げる礼をする生徒など 角形を作れていない、 た。礼では、 正座そのものができない生徒もい た。さらにはひざ関節が硬く、 人差し指と親指で三 頭を床に当

. った。

まって苦しそうな表情を浮か べて

的でなくなった伝統と文化を体験 る。 それらの体験は非日常的とも言え るだろうか。 験する場がどれだけ与えられてい る態度の育成を重視するようにな 定め、日本の伝統と文化を尊重す た我が国と郷土を愛すること」と 化を尊重し、 て第二条第5号規定に い光景となった。それゆえ、 る場が必要となってくる。 教育基本法は、 正座や着物を着る機会は珍し しかしながら、 それをはぐくんでき むしろ、 教育の目標とし それらを経 「伝統と文 今日では 日常

○生徒の感想 1年生女子 (第1回目より)

から立つときの足の出 礼法でも、 いところまで決まり 手を置く位置や正座 があって し方など細 お

○生徒の感想 1年生女子 (第3回目より)

もしろいと思いました。

も大切だとわかりまし 今日、 きれいな座り方や礼のやり 新しい 技を覚えたけ た 方れ

104

105 月刊「武道」 2016. 3 2016. 3 月刊「武道」

があったと思う。

っても体験したことは大きな意義

たが、

たとえ初歩的な段階であ

複数武道授業は、

礼に重点も置

■合気道

				1 年生男子	<u>.</u>		1年生女子					
評	価	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	意欲	3	2				4	3				
1回	態度	4	1				3	3	1			
	技能	3	2				1	5	1			
	意欲	4	1				3	4				
2回	態度	3	2				3	4				
	技能	2	3				3	4				
	意欲	3	2				4	2				
3 回	態度	4	1				4	2				
	技能	5					3	3				

興味を持って楽しそうに稽古をしていた1年生の男子5名は、どの評価も4か5であった。また、女子もほとんどの評価 で4か5であった。このことから1年生は、今回が初めての体験であったが、どの観点からも高い値を示した。

				2 年生男子	٠.		2年生女子					
評	価	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	意欲	3	1									
1回	態度	2	2									
	技能	2	1	1								
	意欲	3	1									
2回	態度	2	2									
	技能	2	1	1								
	意欲	4										
3 回	態度	2	2									
	技能	2	2									

男子4名とも高い値であったが、技能面で3をつけた1名はもっと正確に技をかけようとしていたので、満足度が低かっ たかもしれない。

				3 年生男子	<u>.</u>		3年生女子					
評	評 価		4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	意欲	2					4	1				
1回	態度	1		1			4	1				
	技能	1				1		4	1			
	意欲	2					4	1				
2回	態度	1		1			4	1				
	技能	1			1			4	1			
	意欲	2					4					
3回	態度		1	1			3	1				
	技能	1		1				3	1			

自己評価の低かった男子の自己評価カードには、「合気道を学ぶことができるのは県内でも入田中学校だけと思うので、 特別な気持ちで取り組むことができた。先生は、力を全然入れずに技を相手にかけることができ、すごいと思いました。ぼ くも最終的には先生のようになりたいと思います」と最後は感動的に書いてあった。授業の中でも積極的に取り組んでいた ので意外な自己評価であった。女子は運動不足を感じながらも、楽しく積極的に稽古に励んでいた。また、指導者は、一人 ひとりが頑張っていることを評価するコメントを残した。 (3年生女子3回目は、1名欠席)

表2 自己評価カードの結果

■剣道

				1 年生男子	2		1年生女子					
評	価	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	意欲	3	2				4	2	1			
1回	態度	3		2			4	3				
	技能	3	1		1		3	2	2			
	意欲	5					5	2				
2回	態度	3	1	1			5	2				
	技能	3		1	1		3	2	2			
	意欲	3	2				5	2				
3回	態度	3		2			5	2				
	技能	2	2		1		3	2	2			

男子1名は技能面で評価を2にしている。その理由は、相手を怖れるあまり、腰が引けていたからである。女子も技能面 で、不安な生徒が見受けられた。

				2 年生男子	<u>.</u>		2年生女子				
評	評 価		4	3	2	1	5	4	3	2	1
	意欲	2	2								
1回	態度	1	3								
	技能	1	2	1							
	意欲	4									
2回	態度	3	1								
	技能	2	1	1							
	意欲	3	1								
3 回	態度	2	2								
	技能	2		1	1						

男子1名が技能面で低い評価にしているのは、剣道部と試合をして差を感じたためである。

				3 年生男子			3年生女子					
評	価	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
	意欲	2					4	1				
1回	態度	1		1			4	1				
	技能			1	1		2	3				
	意欲	2					4	1				
2回	態度		2				4	1				
	技能		1		1		1	4				
	意欲	2					4	1				
3回	態度		2				4	1				
	技能			1		1	2	3				

男子1名は技能面で低い評価にしているが、彼もまた剣道部との差を感じていた。女子は、ウレタン竹刀で元気よく稽古 をしていた。

107 月刊「武道」 2016. 3 2016. 3 月刊「武道」 106